



夏季手当満額回答に向けて 各機関で意見交換会を開催①



本部交渉を現場から支えるため、支部・分会では各機関の垣根を超え各所で感染症対策を行いながら、多くの組合員が結集し意見交換会を開催した。意見交換会では、本部交渉の議事録の読み合わせをし、この危機的状況を共有した。

これからも生活に直結する夏季手当満額回答を目指して地本・支部・分会が一致団結していくことを確認した！

【参加者した組合員の声】

- ・定期昇給が減らされた、生涯賃金を考えたら大きな数字だ
- ・満額回答でなければ、生活が守れなくなる
- ・コロナ禍で働き日々の生活に気を使って感染症防止に努めている
- ・夏季手当まで減らされたらモチベーションが上がらない
- ・働く者のモチベーションが上がらなければ黒字化は難しい
- ・交渉出来るのは労働組合だけ。満額回答には組織力が必要
- ・黒字化を目指して活動していることも理解して欲しい
- ・これまで業績が良くても「先行き不透明」として支給額が抑制されてきた。今こそ安定的に支給して安心感を作るべきだ

満額回答を目指し職場から本部交渉団を支えよう！